



地域と医療のコラボレーション

第30号
January
2015

ハモニー

Harmony

発行/医療法人社団協友会 東大宮総合病院
編集/広報委員会
〒337-0051 さいたま市見沼区東大宮5-18
TEL.048-684-7111 FAX.048-686-3614
<http://www.higashiomiya.or.jp/>

特集

新病院完成に向けて

〜今改めてデイズニーの
サービス精神を振り返る〜

東大宮総合病院院長

坂本 嗣郎

今

年は新病院が誕生する年です。私が当院に赴任して足掛け11年となります。思えば12年前、中村副会長が大阪に私を迎えに来て頂いた時はびっくりしました。埼玉の上尾グループと聞いてしばし躊躇したのですが、意を決して東大宮総合病院に來させて頂きました。それからあつという間の10年でした。しやにむに病院機能評価に取組み、病院の急性期化を図りました。その集大成が今年竣工する「彩の国 東大宮メディカルセンター」と成つて現れてきます。埼玉に來て12年目に念願の理想の病院ができるのを今心待ちにしております。どんな病院かと言いますと、私が兼ねてから考えていたことですが、病院をデイズニーランドにしようと言うことです。病院の全ての部署が《clean》と《friendly》と《safety》と、働く職員は例外なく適切で確実な技術を患者様に提供している病院です。

チ

ーム医療が適切に実施され職員同士が助け合っている姿を私は「病院をデイズニーランドにしよ」と言う言葉で表現してきました。ハードウェアがいくら新しくなっても、そこで働く職員の質が大切です。

質

の高い職員が協力しあつて働く姿が私の本来の理想の病院です。あと半年、新病院に移るまでに私の理想とする病院作りを強力に進めて行きたいと思えます。皆さんのご理解をいただき、素晴らしい病院を一緒に作り上げましょう。



診療科だより

皮膚科



冬のかゆみ

皮膚科部長

河野美乃里



皮膚のかゆみには様々な原因がありますが、冬に一番多いのは乾皮症（皮脂欠乏性皮膚炎）、いわゆる乾燥肌です。

- *お布団に入ると全身が痒くて眠れない
- *お風呂に入ると全身が痒くなる
- *お酒を飲むと痒くなる
- *チクチクしたセーターや洋服を着ると痒くなる

このような症状が乾燥肌による皮膚そう痒症の特徴です。では、なぜ乾燥肌になると痒くなるのでしょうか。

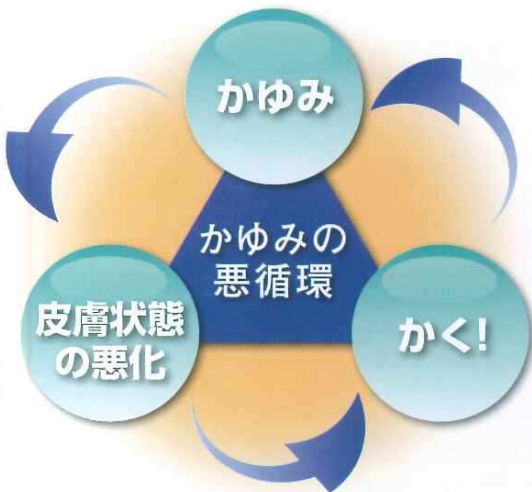
かゆみの原因

正常な皮膚の表皮には水分と皮脂による皮脂膜というバリア機構があり、外からの刺激から皮膚を守っています。同時に皮膚の潤いが外に逃げていくのを防いでいます。

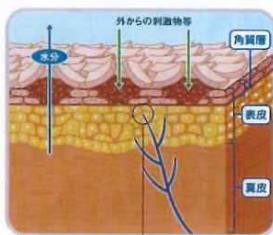
ところが、加齢や空気の乾燥、ごしごし洗うなどの生活習慣により、皮脂膜のバリアが壊れ、角質層の水分量が減少して皮膚の表面に隙間ができることで外からのいろいろな刺激が侵入しやすくなります。これら刺激によりかゆみを感じます。

また、乾燥した皮膚では神経が通常の皮膚よりも皮膚表面近くまで伸びてくるため、わずかな刺激でもかゆみを感じるようになります。

この状態を皮膚そう痒症といいます。痒くなつて掻くと皮膚が傷つき、さらに痒くなるという悪循環がおこります。

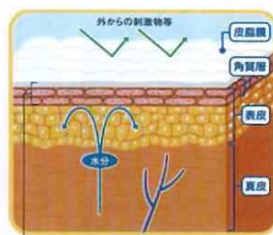


乾皮症の肌(断面)



神経が表面近くまで伸びてくるため、「かゆみ」を感じやすくなります。

健康な肌(断面)



健康な皮膚は外からの刺激物の進入と体内の水分の蒸発を防いでいます。

生活習慣の改善が重要

乾燥肌は高齢者ばかりではなく、若い人でもみられます。痒くなりやすいのは、太ももやふくらはぎ、肩、腰などです。

かゆみを抑えるに

は、生活習慣の改善が重要です。石けんやシャンプーは使いすぎないように、特にナイロンタオルやスポンジなどでごしごし洗うのはやめましょう。熱いお湯も皮脂をとりすぎるばかりでなく、血行が良くなつてかゆみが強まります。お湯は40度位までにし、長湯はやめましょう。そして、最も重要な事は、お風呂から出たらずぐに、保湿剤（クリームやワセリンなど）を全身にたっぷり塗ることです。

擦り込む必要はありません。手のひらで優しくのばしてください。湿疹ができていた場合は、クリームの上から適宜ステロイド剤などのお薬を塗ります。

皮膚そう痒症には皮脂欠乏症の他、糖尿病や腎臓病、肝臓病などからくるかゆみもあります。長引くかゆみは、自己判断せず、皮膚科にご相談ください。



● 皮膚科外来診察日 ※水曜日は非常勤医による診察です。

	月	火	水	木	金	土
午前	👤	👤	👤	👤	👤	👤
午後	👤	👤	👤		👤	

当院の地域連携活動 地域連携委員会 委員長 梅本 淳

一般の方は医療で使われる「地域連携」という言葉がどういう意味か、ご存じでないのではないのでしょうか。東大宮総合病院はさいたま市10区中2番目の人口を抱える見沼区で、唯一の急性期患者様を受け入れる総合病院です。当院は地域の中核病院としての役割を果たしていくため、かかりつけ医（開業医）や近隣の病院などの医療機関と協力し、各々の役割分担を明確にして地域医療を支えていかなければなりません。「地域連携」とは各医療機関が役割分担をして協力し合うことを言います。その目的のために当院では、周辺地域の診療所・一般病院・社会福祉施設などとの連携の窓口として平成16年から院内に「地域連携室」を設置しました。「地域連携室」の専門スタッフが紹介患者様の事前予約、紹介医療施設への連絡・調整、連携業務に関する情報提供などを効率的に行うことにより、はじめて患者様がスムーズに適切な治療を受けられることとなります。従ってその役割は非常に重要と言えます。

今年度、当院ではこれらの機能をさらに強化する目的で「地域連携委員会」が発足しました。地域連携委員会の活動としては、① 地域連携室の行っている診療所・一般病院・社会福祉施設との紹介・逆紹介の管理や連携で発生した問題点の検討・改善のための月例会議、② 近隣の先生・スタッフの方々と顔の見える関係を築くための「地域連携の会」の開催、③ 連携している開業



医様や病院向けの広報誌「かけはし」の発行（年2回）、を行います。

地域連携において当院が最も重視していることは、当院医師・連携室スタッフと連携先の医師や病院スタッフとの間に顔がわかる関係を築くことです。このため、地域連携室のスタッフは電話や文書だけの対応でなく極力、連携先に出かけて行き会ってお話をするようにしています。また、「地域連携の会」では当院の大勢の医師やスタッフが連携している先生、スタッフの方々とお目にかかり交流を深めるようにしています。当院は年々、紹介・逆紹介とも増多の一方ですが、患者様に良い医療を提供するという医療関係者共通の目的に向かって今後とも努力を積み重ねていきたいと思っています。

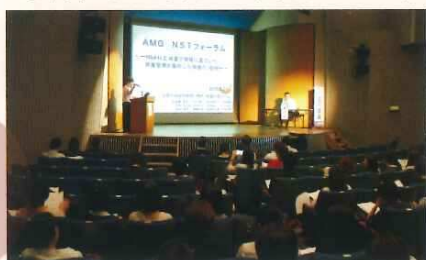
チームで取り組む栄養管理 栄養サポートチーム 管理栄養士 嶋貝 友美

近年の健康ブームにともない、栄養について注目を浴びておりますが、その中で65歳以上の高齢者の入院が増加の一途をたどり、高齢者の栄養管理も重要視されています。医療・医学においては栄養管理が必須であり、栄養管理に関する高度な知識と技術が欠かせなくなっています。当院では平成16年より、入院患者様の栄養状態の改善・治療効果の向上・合併症の予防・QOLの向上・在院日数の短縮・医療費の削減などを活動目的とした、栄養サポートチーム（以下NST: Nutrition Support Team）を発足させ、入院患者様の栄養状態を評価し、栄養療法・栄養

管理を必要とする患者様一人ひとりにあわせた適切な栄養プランの提案・検討・実施をしています。

NSTは医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、臨床検査技師、言語聴覚士、理学療法士、作業療法士など職種を越えて構成された医療チームにより、専門性を活かした情報共有を図っています。院内では職員を対象とした定期的な勉強会を開催し、栄養の基本、胃瘻・輸液・経腸栄養法、医薬品扱いの経腸栄養剤、口腔ケアなどをテーマに、栄養についての知識・技術向上に取り組んでいます。また院外活動では他施設合同でNSTフォーラムを定期的で開催し、臨床における情報交換や当院におけるNSTに不足しているものや新たな試みを見出すよい機会となっています。さらに他病院から多くの研修生を受け入れ、日本静脈経腸栄養学会NST専門療法士認定規則実地修練認定教育施設として、NST専門療法士の育成にも取り組んでいます。今後も患者様のためのNSTとして、さらなる向上に努めていきたいと思っています。

定期的
開催している
NSTフォーラム
の様子



新病院プロジェクト

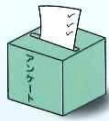
建築工事、順調に進んでいます！

新病院の建築は現在6階部分に取り掛かっています。建物の内装部分の工事も始まっており、入院病棟のモデルルームができました。使用するベッドや床頭台、ワードローブやメディカルコンソールの位置確認などの調整をしました。



広報誌「ハーモニー」読者アンケートのご協力 ありがとうございました!!

9月に発行した、広報誌「ハーモニー」の読者アンケートの集計報告を致します。



アンケート配布数1,104枚

■回収数	64枚
■未回収数	1,040枚
回収率	5.8%

掲載内容や読みやすさには全体的に良い評価を頂きました。興味を持ったコーナーでは、「診療科だより」が多く、今後とも各診療科・専門外来については紹介をしていきます。また、「新病院プロジェクト」に関してはあと半年ですが、引き続き掲載をして参ります。



今後ともよろしくお願い致します。

当院 数字アラカルト

外来患者数	687人/日
入院患者数	271.6人/日
在院日数	15.6日
ベッド稼働率	86.7%
救急件数(月平均)	384件/月
手術件数(全麻・腰麻)	109件/月
心臓カテーテル検査件数	14件/月
内視鏡件数	596件/月

平成26年8月～11月平均



編集後記

あけましておめでとうございます。今年は新病院のオープンに伴い、東大宮総合病院として広報誌を発行するのは次回の5月号で最後となります。最後にふさわしい内容になるよう、委員一同頑張ってお参ります。



JR宇都宮線「東大宮」駅下車 東口より徒歩3分



医療法人社団協友会

東大宮総合病院

〒337-0051 さいたま市見沼区東大宮5-18
TEL.048-684-7111 FAX.048-686-3614

東大宮総合病院

検索